

者切先を揃へ火花をちらりて戦ひ多松永方には
大勢といひ其昨夜より働にはなれなむいかに
引退く東海林二部傷にきて追ひ多松永
より返し戦をもつてかりたるも儉組の細道か
まゝ大勢一夜に忽ち合ふまゝもふく松永東海林互
に押合ひて引退く傷への名に精ひる良等も互に
主を討せしと周章ふとめく所に二人なかり上に成
下になりこちひ落る松永二十計り此血をまき
東海林は猛しといふ年あふれ終に組をかれ
既いふたれんとさす所東海林心きたるものあら組

あれあふ松永を二刀刺り松永力弱り眩きて
終に東海林よりれり部より松永一類麻目兵
庫より来て東海林よりれり松永東海林労れあふも
横槍よりち拂ひ多兵庫へ腹後切付られし作を
倒れ多を多かりつて首を取て立あふり松永東海
林より等よりれり主を引立二つの首を切先を貫
きて大勢に唯今敵の大將宗徳の者も首二級取が
東海林次郎昌徳生年十七歳此初陣を人
能く見給ひして味方の陣を引に多松永方は
是を見て大將討れよりれり松永は成て引退く